



各プロジェクトの様子

「プロジェクト I (アイ)」

プロジェクトIではアンケートの集計と、そこから、夜久野のみなさんの為に出来ることは何かについて話し合いを重ねています。まずは「出来ること」「出来ない事」「すぐに出来ること」「時間がかかること」の仕分けなどに現在取り組んでいます。

「何でも防ぎ隊」

何でも防ぎ隊では、昨年から引き続き、自治会ごとの「ヒヤリハットマップ(危険箇所)」の作成に取り組んでいます。また、防犯推進委員と下・上夜久野派出所と共同で「防犯ステッカー」を作成、部会員、協力者のマイカーに貼っていただき、夜久野の防犯啓発につなげます。

「講演会プロジェクト」

講演会プロジェクトでは「健康」「福祉」「介護」など、さまざまな専門分野のからお話を聞き、まちの生活課題について気づき、誰もが安心して暮らせる社会に向けて考える機会になればと計画をすすめています。3月22日(水)に第一回となる講演会を実施しました。

アンケートの中で多く寄せられた主な声を紹介します。

- ・雪かきをしてほしい
- ・話し相手がほしい
- ・家事援助
- ・買い物支援

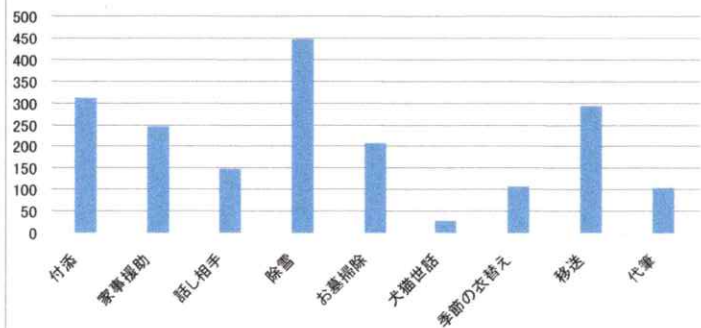
など

今年の1月、2月は町内でも雪害が発生するほどの大雪となりました。記録的な積雪で損害が出た家庭も多かったのではないのでしょうか。アンケートにご回答いただいたのが、昨年秋だったにも関わらず「雪かき援助」の要望が多数あり、困っておられる方の多さに驚きました。

アンケート集計を基に夜久野にお住まいの方の困りごとが一つでも解決出来るよう、部会員で

話し合いをすすめていきます。

全体集計結果



平成 28 年 10 月実施
「困りごとアンケート」
項目① 結果概要

ご意見をいただきました！

(困りごとへの取り組みは)一度に100%の事をするのは無理やけど、できることから実行してほしい。『お助け隊』をつくって、アンケート結果から優先順序を決めて、ボランティアを募り、少しずつやっていかなあかんと思います。

「どんな手伝いが必要か」ということを洗いだして、「ボランティアをする人がどのくらいいるのか」「どんな仕事ならできるのか」を尋ねるアンケートを取ればいいと思います。

親戚にもお年寄りの話し相手に行っている者がいる…そんな仕事もあるんやね。私も、部会には入らないけど、手伝いの内容によっては、お助け隊で協力していきたいと思っています。

5年前に比べたら、「さとう」「ニシヤマ」「イオン」などにタクシーで来る人が増えたと思う。また運転免許証の返納をしなければならない人がたくさん出てきた。私も早くしないとどんどん年をとってしまっていってしまいます。待ったなしでお助け隊を作ってください。(75歳男性)

見守り防犯ステッカー完成!



サポーター募集

現在「特殊詐欺」や「空き巣」など、夜久野においても被害が出ており、テレビなどで報じられている犯罪も他人事ではないのです。

「何でも防ぎ隊」のメンバーで知恵を出し合い、防犯推進委員と警察署(駐在所)の協力で「見守り防犯ステッカー」が完成しました。ステッカーを車に貼ることで、防犯につながるように願っています。

協議会のメンバーをはじめ、地元企業にも営業車に貼っていただくな

- 一般個人 一口 1,000円
- 企業・商店 一口 1,460円

協力いただいた方、企業は「まち協だより」「ふくしあん新聞」で紹介します!

ど、ご協力いただける方を募集しています。

是非、皆さんのご協力をお願いいたします。



現在の協力企業

◎京都北都信用金庫 額田支店 様

◎社会福祉法人仙人福祉事業会

グリーンピラ夜久野 様

明るい明日を築く

ひとりひとりのやる気とパワーをまちづくりに!

3/22(水) 第1回「講演会」実施

今回のテーマは、地域の現状に目を向けること。当日は178名に参加いただき、西垣内科院長西垣哲哉さん、川口・夜久野地域包括支援センター長高岡克弘さんから話を聞きました。

『医療の現場から見た夜久野』～認知症を取りまく家族と地域のつながり～

西垣院長さんからは、認知症は「ひとつの老化現象の過程、脳の萎縮する箇所によって症状が変わる」こと、その事例を聞きながら、認知症をかかえておられる方でも出来ることがあり、地域の中で育まれることでさらに可能性は広がることを学びました。

また、「年をとると「何もできんようになった」と言う人が多いけれど、現状をあきらめず、ちょっとでも「これが出来るようになった」と前を向き、夢をもってほしい」とメッセージをいただきました。地域の医療が、西垣院長の飾らず温かいお人柄に支えられていることにあらためて気づき、感謝の意と心強さを感じた講演でした。



『ともに寄り添い、助けあい』～地域の福祉課題～

高岡さんからは現在の地域の介護制度状況について説明を受け、「これからの時代は『助けてもらったり、助けてあげたり』のあたり前の互助精神がますます必要であり、高齢者自身も役割を持って、少しずつでも力を出し合って、みんなで大きなまちづくりにしましょう!」と力強くまとめていただきました。



講演会開催にあたり、自治会長さん、健康環境委員さん、サロンボランティアの皆さまをはじめ、地域の皆さまに多数ご参加いただきました。参加者の中には、地域やお仲間でさそいあったり、また車に乗り合わせてご来場いただいたりと、まさに、この実践(力)こそが地域を支えまちづくりの礎となっていること、これからも必要であることを実感しました。このひとりひとりの願い、行動が、少し



づつ大きな輪になり、明るい未来につなげていきたい。そのためにも皆さまのご参加をお待ちしております。